あかば・ナウ
赤羽NOW
夏号
2005.8.1 発行

衆議院議員
赤羽かずよしの国会報告
〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通7-1-1-4F
Tel.078-512-3177 Fax.078-512-3178

兵庫２区
（長田区・兵庫区・北区）

列車事故再発防止に全力傾ける！

公明党の要請に、JR西日本が改善策を発表

衆議院議員
赤羽かずよし

ＪＲ西日本福知山線の列車脱線転覆事故では多くの死傷者を出し、まずご関係の皆様方に心からお見舞申し上げます。

今回の事件を教訓に、党国土交通部会長という与党政策責任者の一人として、北側国土交通大臣とともに二度とこのような事故を起こさないよう全力を尽くして参ります。また、地元では神戸電鉄に対し安全対策のためＡＴＳの設置を要請し実現をさせていただきました。

神戸電鉄にATS（自動列車停止装置）の設置を要請

全国に先駆け 神戸電鉄がカーブの安全対策を実施！

４月25日に発生した尼崎市内でのＪＲ西日本・列車転覆事故では、赤羽かずよし衆議院議員は、緊急対策本部副本部長として、国土交通省・ＪＲ西日本そして事故現場から情報収集を行うとともに万全なる対策を講じつつ、翌日、現場検証を実施した。

JR福知山線・列車転覆事故現場を視察する赤羽かずよし衆議院議員を始めとする公明党緊急対策本部視察団

５月13日には、衆院国土交通委員会にＪＲ西日本・垣内剛社長を参考人として集中審議を行い、赤羽かずよし議員が質問に立った。

ＪＲ西日本は、一連の公明党の再発防止策の提案を受け、下記の改善点を発表した。

①ＪＲ西日本創業以来初めて、最高速度の減速と所要時分・停車時分を延長するダイヤ改正を実施！

②同路線再開の条件として、新三田までのＡＴＳ－Ｐの設置を義務付けると共に、安全対策予算を昨年比倍増の９００億円に！また、全国２４００ヶ所の危険性のあるカーブへの設置も義務付けられることになり、神戸電鉄でも４箇所でＡＴＳが設置された（写真参照）。

③運転士の再教育については、これまで現場に任せられていた教育内容を実践教育に重点をおいたものとなるようＪＲ西日本本社がガイドラインを作成する。

また、赤羽かずよし衆議院議員は、７月10日、北区内で神戸電鉄の三澤鉄道本部長等と会い、４月25日のＪＲ事故後、全国の鉄道会社に先駆け、カーブの速度超過防止対策として、神戸電鉄が設置したＡＴＳ（自動列車停止装置）を視察した。神戸電鉄は、花山～谷上（上り）神鉄道場～横山（上下）フラワータウン～横山（上り）の計４箇所に曲線用のＡＴＳを設置。

尚、このＡＴＳの早期設置については、ＪＲ西日本・福知山線の列車転覆事故の翌々日に、公明党より神戸電鉄に対し、申し入れていた。

全国に先駆けて設置した神戸電鉄のATSを視察する赤羽かずよし衆議院議員と羽田野求県議、芦田かつみ・山田哲郎両市議。

衆議院議員・赤羽（あかば）かずよし

昭和33年5月7日生まれ（47歳）
慶應義塾大学法学部政治学科卒業
昭和58年三井物産株式会社に入社
在社中、台湾国立師範大学で中国語研修後、北京・南京事務所勤務。駐在時、天安門事件に遭遇。関西支社勤務を経て、平成5年退社。
平成5年衆議院総選挙初当選、平成8年再選、平成12年３選、平成15年４期目当選。
党役職（中央幹事、副幹事長、国土交通部会長、経済産業部会副部会長、団体渉外委員会団体局長、国際委員会副委員長、税制調査会幹事）
所属委員会（衆議院国土交通委員会理事・同外務委員・同災害対策特別委員）
座右の銘「一人立てるときに強き者は真正の勇者なり」
趣味（ラグビー［元全日本高校選抜］・絵画鑑賞）

確かなビジョンで明日へトライ

林敏之氏らと共にラグビーの実技指導をおこなう
赤羽かずよし衆議院議員

実現しました！
子育て支援で全力投球!!

『ラグビー寺子屋』で青少年の健全育成

ラグビーを通して、勇気・正義感・優しい心を学んだ赤羽かずよしは、昨今の青少年による痛ましい事件に頭を痛め、古くからの友人で、全日本ラグビー元主将の林敏之氏（神戸製鋼）らと共に、震災復興10周年事業「将来世代プロジェクト」として『ラグビー寺子屋』を立ち上げた。「何ものも恐れぬ勇気」「限界に挑戦する強い気持ち」「仲間への信頼と自己責任」を少しでも伝えたいとの思いで、神戸北ラグビースクール、大開小ラグビースクール等の少年たちやご父兄と一緒に汗を流し、懇談した。

赤羽かずよしは、党少子社会対策本部の副本部長として、安心して子育てできる「チャイルド・ファースト」社会の実現目指し、

①児童手当の支給対象を3歳児未満から小3年生まで引き上げ、所得制限も大幅緩和。近々、小6年生までに拡大。
②保育所待機児童ゼロ作戦。規制緩和で駅前保育・夜間保育実現。ここ3年間で15万人分の保育園を新設・増設。今後も継続。
③奨学金の抜本改革。成績にかかわらず誰でも利用できる制度に改善し、本年支給学生100万人を突破。
④育児休業手当ての所得保障を25％から40％への引き上げ、休業期間も1年半に延長。
⑤出産一時金の引き上げや不妊治療への公的助成の実施。
⑥子育て世帯の公営住宅への優先入居、子どもが増えた場合の広い住宅への住み替え。

等々、推進してきた。

さらに、不審者が小学校に侵入して児童に危害を及ぼす事件の発生を契機として、「治安・学校の安全対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、子どもの安全確保へ向けた取り組みを展開。神戸市内では、本年度より、全小学校児童全員に、防犯ブザーの貸与制度を実施。

赤羽ビジョン
経済再生・雇用増大の街・神戸へ

待望の神戸空港が明年2月16日にオープン!!

国際グリーン物流拠点として、人・モノ・情報の交流拡大!!

党国土交通部会長として、赤羽かずよしが深く関わっている国土交通行政の中でも、待望の神戸空港が、明年2月16日に正式オープン。三ノ宮駅から16分という利便性の高さから、すでに日本航空・全日空・スカイマーク各航空会社が続々と参入表明。有馬温泉・神戸ビーフ・洋菓子・コーヒー・ファッション・夜景など神戸ブランドの観光資源の窓口としての役割が発揮される。周辺には、多くの内外の企業が参入する形で「先端医療産業都市」が着々と形成されつつあり、新産業創出と雇用の確保が期待される。空港との結節点となる三ノ宮駅前のバスターミナルも集約化を進めていく。

神戸港もスーパー中枢港湾の指定を受け、国をあげて、アジアの各主要港湾に負けない国際競争力の回復を目指している。また、空港・港湾へのアクセス道路の整備、特に湾岸道路8期・9期工事を進め、大型車の通行可能な道路ネットワークの形成促進中。物流の効率化・集約化をすすめることは最良の地球温暖化対策であり、神戸港・神戸空港を日本の一大グリーン物流拠点として、その機能向上に、赤羽かずよしは、全力投球中である。

賑わいのある商店街・地場産業の復活!!

赤羽かずよしは、党『まちづくり三法』見直しプロジェクトチームの座長として、抜本見直しを提案、来年の通常国会に改正法が提出される。コンパクト・シティの形成を促進し、誰でも「歩いて暮らせるまちづくり」を実現し、賑わいのある商店街の再生を促進していく。

神戸市小売市場連合会　左海勝会長と